



# 第120期(平成28年3月期) 定時株主総会

平成28年6月24日  
グンゼ株式会社

# 第120期定時株主総会

議 事 次 第 （開始時刻：午後1時）

## <報告事項>

1. 第120期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)  
事業報告、連結計算書類および計算書類の内容報告の件
2. 会計監査人および監査役会の  
第120期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)  
連結計算書類監査結果報告の件

## <決議事項>

- 第1号議案 剰余金の処分の件  
第2号議案 取締役12名選任の件



## ■ 第120期定時株主総会

# 「報告事項」

---

## 事業報告

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

# I. 事業の経過及びその成果

---

## I-1. 第120期(平成26年度) 連結業績

### 連結業績

(単位：億円 単位未満切捨て)

	第120期 (H27年度)	第119期 (H26年度)	対前期		利益率(%)	
			増減額	増減率 (%)	第120期 (H27年度)	第119期 (H26年度)
売上高	1,383	1,411	△28	△2.0	—	—
営業利益	36	30	5	18.7	2.6	2.2
経常利益	7	49	△41	△84.0	0.6	3.5
親会社株主に 帰属する 当期純損益	△12	32	△44	—	—	2.3



## Ⅱ．事業セグメント別の概況

---

お手許の招集ご通知 **2頁から3頁**をご参照

# Ⅱ-1. <機能ソリューション事業 1>

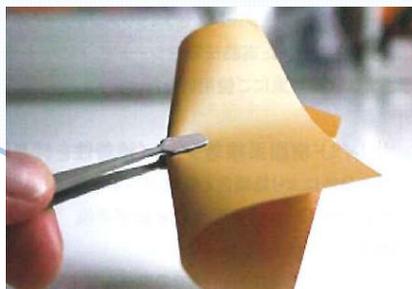
売上高 : 561億円 (前期比 5.9%減)  
 営業利益 : 34億円 (前期比 1.4%増)

## ■ プラスチック



複合ナイロン新製品  
 HEPTAX-PF type

## ■ エンジニアリング プラスチックス



新開発製品  
 ポリイミド樹脂系シート

## ■ 電子部品

新規ハードコート (開発品)	既存ハードコート (標準タイプ)
φ2mm以下	φ3mm
○ 割れない	× 割れる

フレキシブル薄膜  
 COCフィルム

## ■ メディカル



中国深圳工場

## Ⅱ-2. <機能ソリューション事業 2>

### プラスチック

シュリンクフィルムが飲料用途を中心に低迷  
 原材料価格安の影響などにより利益は確保

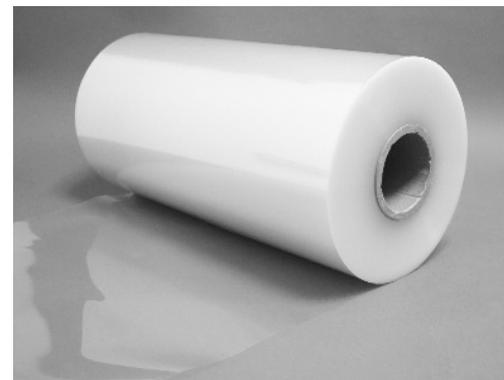
製品群	概況
平板収縮	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 主力の国内飲料用途が市場縮小するも、付加機能品を強化</li> <li>• 海外市場はアセアン向けは好調</li> </ul>
OPP	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カット野菜用途の防曇タイプは堅調も汎用品で苦戦</li> </ul>
複合ナイロン	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 輸出品伸長に加え「バリアナイロン」新商品が市場で高評価</li> </ul>
多層フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カスタムグレードの新商品開発遅延が影響</li> </ul>



■ 飲料向け平板収縮フィルム



■ 食品向けOPPフィルム



■ 複合ナイロン新製品  
 HEPTAX-PF type

## II-3. <機能ソリューション事業3>

### エンジニアリング プラスチックス

OA市場向け製品は新興国市場の景気停滞の影響、  
 非OA市場向け製品は半導体産業での在庫調整の影響により低調に推移

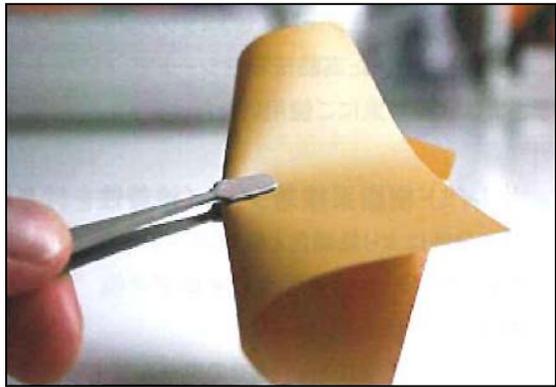
製品群	概況
カラー中間転写ベルト	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外市況、開発機種 of 絞込みや内製拡大が影響</li> </ul>
フッ素樹脂チューブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>OA機器のボリュームゾーンの市場縮小により                      ローラー等の部品市場が縮小</li> </ul>
一般産業用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体産業の需要変動が影響</li> </ul>



■ フッ素樹脂(PFA)薄膜チューブ



■ 半導体製造用フィルター資材



■ 新開発製品  
 ポリイミド樹脂系シート

## Ⅱ-4. <機能ソリューション事業4>

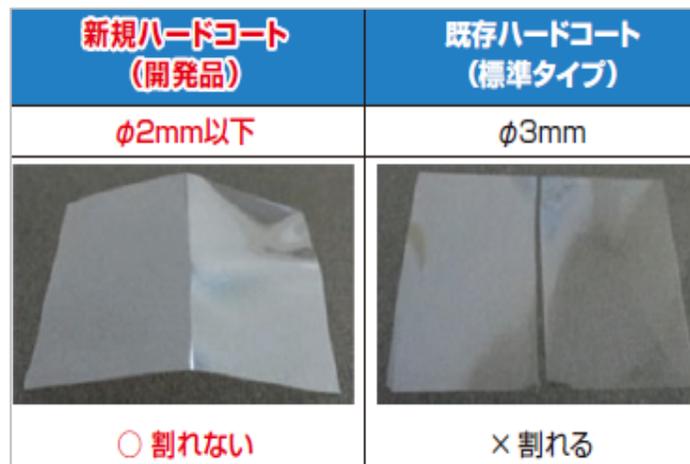
### 電子部品

パソコン向けタッチパネル販売等の低迷  
 海外生産工場再建・合理化等に取り組むも業績への貢献に至らず

製品群	概況
抵抗膜方式	・ FA用途で安定受注を継続、再建の柱として再注力
PCAP完成品	・ B to B高級機種に絞った販売に特化するも販売不振
半製品	・ 中国スマホ市場の減速で撤退
フィルム販売	・ 9H高硬度フィルムカバーの開発に苦戦



■ タッチパネル



■ フレキシブル薄膜COCフィルム

## Ⅱ-5. <機能ソリューション事業 5>

### メディカル

縫合補強材が引続き北米向けで好調  
骨接合材が国内・中国向け販売で順調に推移

製品群	概況
縫合補強材	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き米国向け肥満治療用途で高評価</li> </ul>
骨接合材	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭蓋顎顔面領域でフラットプレートシステムが販売好調</li> </ul>
人工皮膚	<ul style="list-style-type: none"> <li>熱傷領域を中心にサイズラインナップを拡充</li> </ul>
縫合糸	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国深圳工場生産が本格稼働</li> </ul>



■ レッグサイエンス  
(医療用弾性ストッキング)



■ ペルナック (人工真皮)



■ 中国深圳工場

## II-6. <アパレル事業 1 >

売上高	:	681億円 (前期比 0.8%増)
営業利益	:	22億円 (前期比 49.7%増)

### ■ インナーウェア分野



快適工房

### ■ レッグウェア分野



SABRINA (サブリーナ)

# Ⅱ-7. <アパレル事業 2>

## インナーウェア

主カブランドの「快適工房」が堅調に推移  
 「KIREILABO」、「Tuché」などの差異化技術商品の販売が好調

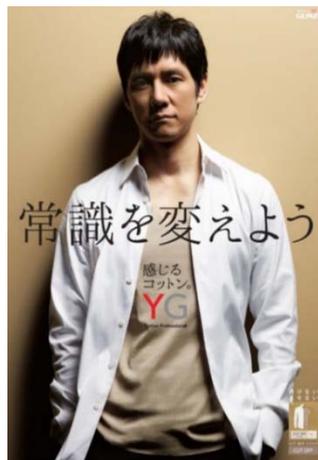
- 【快適工房】 リニューアル効果で順調に推移
- 【BODYWILD】 カジュアル品種の拡大で販売底上げ
- 【KIREILABO】・【Tuché】の差異化技術商品  
 [完全無縫製]や「縫い目0 (カットワ)」が好調



■ 快適工房



■ BODYWILD



■ YG



■ KIREILABO  
 (キレイラボ)



■ Tuché  
 (トゥシェ)

# II-8. <アパレル事業3>

## レッグウェア

主カブランドの「SABRINA」が好調に推移  
ヒットアイテムの「レギンスパンツ」も売上伸長

- 新付加価値商品群の単価アップ戦略が奏功
- メンズフットカバーや新発売のメンズレギパンも好評



■ SABRINA (サブリーナ)



■ レギンスパンツ



■ メンズレギパン



■ フットカバー



■ ウチコレ

## Ⅱ-9. <ライフクリエイイト事業 1>

売上高 : 146億円 (前期比 0.7%増)  
 営業利益 : 12億円 (前期比 2.9%減)

### ■ 不動産関連分野



つかしん

### ■ スポーツクラブ分野



広島祇園店

## Ⅱ-10. <ライフクリエイイト事業 2>

### 不動産関連分野

テナント再編リニューアル効果により好調に推移

#### <商業施設【つかしん】>

- 2006年リニューアルオープン以降で  
 最多の来街者数(1,329万人)を達成

#### <遊休地再開発>

- 綾部賃貸住宅：  
 3月竣工、賃貸開始（I期：4棟、40戸）



■つかしん



■綾部グランブルー

## Ⅱ-11. <ライフクリエイイト事業3>

### スポーツクラブ分野

出店効果により売上は増加したが、新規店の開発費用が嵩む

#### <新規開業店>

- イオンモール広島祇園（広島県広島市、2016年3月開業）
- 京都八幡（京都府八幡市、2016年7月開業予定）



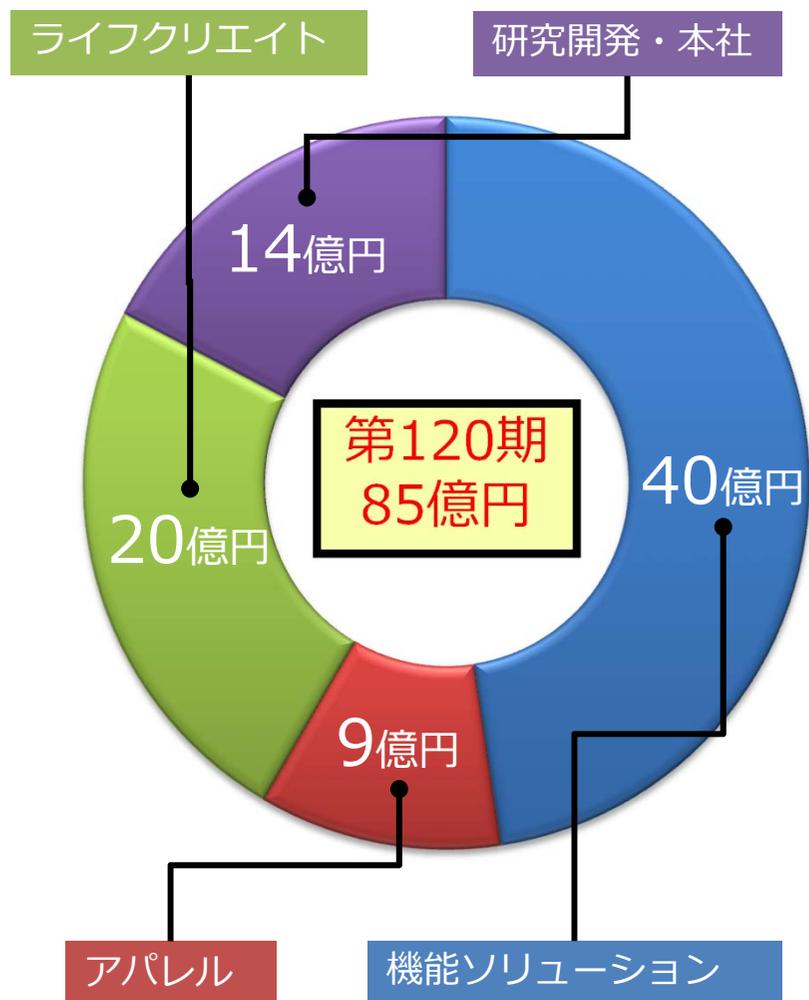
■ 広島祇園店

## Ⅱ-12. 第120期(平成27年度)セグメント別の業績

(単位：億円 単位未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	第120期 (H27年度)	第119期 (H26年度)	増減	第120期 (H27年度)	第119期 (H26年度)	増減
機能ソリューション	561	596	△35	34	33	0
アパレル	681	676	5	22	14	7
ライフクリエイト	146	145	0	12	12	0
全社・消去	△6	△6	0	△32	△30	△1
合計	1,383	1,411	△28	36	30	5

## Ⅱ-13. 設備投資の状況



### 機能ソリューション事業 (40億円)

- プラスチック (米国生産設備、建屋他)
- エンプラ (生産設備)
- 電子部品 (日本・台湾生産設備)
- メディカル

### アパレル事業 (9億円)

- インナー (生産設備)

### ライフクリエイト事業 (20億円)

- 遊休地開発 (賃貸住宅他)
- スポーツクラブ新店 他

### 研究開発・本社部門 (14億円)

- システム開発
- 綾部地区社宅建替 他



### Ⅲ. 業務の適正を確保するための

#### 体制の整備及び運用状況の概要

**お手許の招集ご通知14頁から19頁をご参照**

### Ⅳ. 会社の支配に関する基本方針

**お手許の招集ご通知19頁から21頁をご参照**



## V. 計算書類（連結）

---

〔 貸借対照表・損益計算書  
キャッシュ・フロー計算書及び  
株主資本等変動計算書 〕

お手許の招集ご通知**22頁から32頁**をご参照

## V-1. 貸借対照表（資産の部）

（単位：億円 単位未満切捨て）

科目	第120期 (H27年度)	第119期 (H26年度)	増減
流動資産	<b>716</b>	<b>776</b>	△ <b>60</b>
固定資産	<b>981</b>	<b>977</b>	<b>4</b>
有形固定資産	<b>698</b>	<b>702</b>	△ <b>3</b>
無形固定資産	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>1</b>
投資その他の資産	<b>269</b>	<b>262</b>	<b>6</b>
資産合計	<b>1,697</b>	<b>1,753</b>	△ <b>55</b>

### 流動資産

**716億円**（前期比 60億円減少）

現金及び預金	前期比	△16億円
受取手形及び売掛金	前期比	△21億円
たな卸資産	前期比	△16億円

### 有形固定資産

**698億円**（前期比 3億円減少）

建物及び構築物	前期比	9億円
機械装置及び運搬具	前期比	△11億円
建設仮勘定	前期比	△6億円

### 投資その他の資産

**269億円**（前期比 6億円増加）

退職給付に係る資産	前期比	△21億円
繰延税金資産	前期比	26億円

## V-2. 貸借対照表（負債の部、純資産の部）

（単位：億円 単位未満切捨て）

科目		第120期 (H27年度)	第119期 (H26年度)	増減
負債の部	流動負債	384	354	29
	固定負債	246	225	21
	負債合計	631	579	51
純資産の部	資本金	260	260	-
	資本剰余金	139	140	△0
	利益剰余金	766	793	△27
	自己株式	△91	△76	△14
	その他の包括利益累計額等	△9	55	△64
	純資産合計	1,066	1,173	△107
負債及び純資産合計		1,697	1,753	△55

### 負債合計

631億円（前期比 51億円増加）

長・短期借入金(C P含む) 前期比 17億円  
退職給付に係る負債 前期比 14億円  
為替予約等流動負債その他 前期比 23億円

### 純資産合計

1,066億円（前期比 107億円減少）

親会社株主に帰属する当期純損失 △12億円  
自己株式 △14億円  
配当金の支払(119期) △14億円  
その他有価証券評価差額金 △35億円  
退職給付に係る調整累計額 △22億円

## V-3. 損益計算書

(単位：億円 単位未満切捨て)

	第120期 (H27年度)	第119期 (H26年度)	増減
売上高	<b>1,383</b>	<b>1,411</b>	△28
売上総利益	<b>344</b>	<b>335</b>	9
販管費	<b>308</b>	<b>304</b>	3
営業利益	<b>36</b>	<b>30</b>	5
営業外損益	△28	18	△47
経常利益	<b>7</b>	<b>49</b>	△41
特別損益	△15	6	△22
税引前当期純利益	<b>8</b>	<b>56</b>	△47
法人税等	<b>4</b>	<b>25</b>	△20
非支配株主に 帰属する 当期純損益	△0	△1	0
親会社株主に帰属 する当期純損益	△12	32	△44

### 営業外損益

△28億円 (前期比 47億円減益)

<主な内訳>

デリバティブ評価損 △28億円

<前期の主な内訳>

為替差益 12億円

デリバティブ評価益 5億円

### 特別損益

△15億円 (前期比 22億円減益)

<主な内訳>

減損損失 △13億円

<前期の主な内訳>

退職給付制度改定益 12億円

固定資産除売却損 △4億円

## V-4. キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円 単位未満切捨て)

	第120期 (H27年度)	第119期 (H26年度)	増減
営業活動	117	95	22
投資活動	△120	△92	△28
FCF	△2	2	△5
財務活動	△12	17	△30

### ■ 主な営業CF

減価償却費	66
売上債権の減少	20
たな卸資産の減少	11
保険金の受取額	9

### ■ 主な投資CF

固定資産の取得	△66
投資有価証券の取得	△58

### ■ 主な財務CF

借入金及びC Pの増加	18
自己株式取得	△16
配当金支払	△14

## V-5. 株主資本等変動計算書

項目	株 主 資 本 (単位：億円 単位未満切捨て)			
	資本金および 資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本計
当 期 首 残 高	401	793	△ 76	1,117
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当		△ 14		△ 14
親会社株主に帰属する当期純損失		△ 12		△ 12
連結範囲の変動		△ 0		△ 0
自己株式の取得・処分	△ 0		△ 14	△ 15
株主資本以外の項目の変動額(純額)				
連結会計年度中の変動額合計	△ 0	△ 27	△ 14	△ 42
当 期 末 残 高	401	766	△ 91	1,075
項目	その他の包括 利益累計額	新株 予約権	非支配 株主持分	純資産 合計
当 期 首 残 高	38	3	13	1,173
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△ 14
親会社株主に帰属する当期純損失				△ 12
連結範囲の変動				△ 0
自己株式の取得・処分				△ 15
株主資本以外の項目の変動額(純額)	△ 62	△ 0	△ 1	△ 64
連結会計年度中の変動額合計	△ 62	△ 0	△ 1	△ 107
当 期 末 残 高	△ 24	2	12	1,066

## V-6. 主要財務・経営指標(連結)

	単位	第120期 (H27年度)	第119期 (H26年度)	増減
ROA : 総資産営業利益率	%	<b>2.1</b>	<b>1.8</b>	<b>0.3</b>
ROE : 自己資本当期純利益率	%	<b>△ 1.1</b>	<b>2.8</b>	<b>△ 3.9</b>
総資産	億円	<b>1,697</b>	<b>1,753</b>	<b>△ 55</b>
自己資本	億円	<b>1,051</b>	<b>1,156</b>	<b>△ 104</b>
自己資本比率	%	<b>61.9</b>	<b>66.0</b>	<b>△ 4.1</b>
有利子負債額	億円	<b>314</b>	<b>295</b>	<b>18</b>
BPS : 1株当たり純資産	円	<b>562</b>	<b>603</b>	<b>△ 41</b>

※ ROA : 営業利益 ÷ 総資産

※ ROE : 当期純利益 ÷ 株主資本



## VI. 計算書類（単体）

〔 貸借対照表・損益計算書及び  
株主資本等変動計算書 〕

お手許の招集ご通知33頁から40頁をご参照



## VII. 中長期的なグループの 経営戦略と対処すべき課題

---

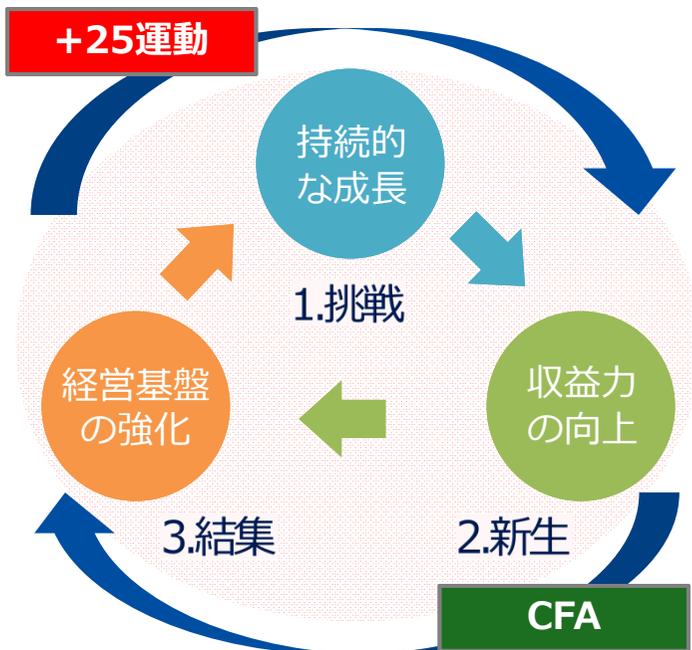
お手許の招集ご通知3頁から4頁をご参照

# VII-1. 2016年度（121期）経営方針

## 中期経営計画 「CAN20」（キャントゥエンティ）

2014年度～2020年度の7カ年  
 第1フェーズ（2014年度～2016年度）  
 ⇒ **3年目：最終年度**  
 第2フェーズ（2017年度～2020年度）

### 新規事業・新商品・新規チャネルの開拓



### +25運動

25%をキーワードに成長確保のため新規取り組みに経営資源を再配分  
 新たな取り組みに費やすマンパワーと時間を創出する運動

### CFA

クロスファンクショナルアプローチ  
 部門ごとに存在する知識や手法などを横断的に流通させ、組織全体の機能を強化する活動

## VII-2. 2016年度（121期）経営方針

### 新規事業創出に向けた取組み

#### ■ 新規事業推進室の設置（2016年4月）

2014年～

- エジソンプロジェクトで新規事業の探索開始

2016年～

- 2つの事業枠組みでの新規事業創出戦略を推進

高機能テキスタイル  
e-テキスタイル  
ウェアラブルシステム  
ナノファイバー

高機能フィルム

## VII-3. 2016年度（121期）経営方針

### 新商品創出に向けた取組み

#### ■ 健康・医療関連分野の拡大



- 術後の肌や敏感肌を意識した低刺激インナー  
 (2016年2月発売開始)



衣料型ウェアラブルシステム開発

日用品から医療用アパレルへの展開拡大

## VII-4. 2016年度（121期）経営方針

### 新規チャネルの開拓

#### ■ カジュアル衣料チェーンのM&A

Jeans & Casual the dan co.,ltd.

(株) ジーンズ・カジュアル ダンの子会社化  
売上高：約37億円

- dan  
ジーンズカジュアル専門店チェーン  
(11店舗展開)



- 蔵之助  
衣料品・雑貨・小物等の専門店  
(29店舗展開)



## VII-5. 2016年度（121期）経営方針 <機能ソリューション事業1>

### ■ プラスチック

事業環境が大きく変化しているなか、  
新市場、新商品の開発を推進

製品群	2016年度方針
食品包装	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷凍耐ピンホール「バリアナイロン」の新商品の市場開拓推進</li> </ul>
飲料	<ul style="list-style-type: none"> <li>低音高収縮や熱風収縮用などの付加価値の高いシュリンクフィルム開発推進</li> </ul>
生活用品	<ul style="list-style-type: none"> <li>特殊フィルムの市場へのプロモート（シュリンク、ナイロン）</li> </ul>
工業用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォン向け新商品需要の模索</li> </ul>

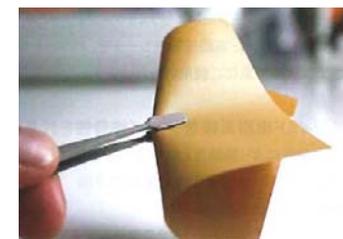


■ 複合ナイロン新製品  
HEPTAX-PF type

### ■ エンジニアリングプラスチック

主力OA商品の成熟化対策と  
半導体関連などの繊維技術活用製品の拡大

製品群	2016年度方針
カラー中間転写ベルト	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストダウンとモデルサイクルにあわせた新技術のタイムリーな提案</li> </ul>
一般産業用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体関連などの繊維技術活用製品の拡大</li> <li>産業用収縮チューブのアジアを中心とした海外販売の強化</li> <li>医療器具向け、各種雛型材向けの開拓活動の推進</li> </ul>



■ 新開発製品  
ポリイミド樹脂系シート

## VII-6. 2016年度（121期）経営方針 <機能ソリューション事業2>

### ■ 電子部品

【構造改革】生産のダウンサイジングとタッチパネル販売から機能フィルム販売を主体とした事業構造シフトの加速

- 生産のダウンサイジング化（人員1,250→700名程度/2020年）
- 完成品タッチパネルの軸を業務用に移行  
⇒産業デバイス
- フィルム材料販売中心の事業に軌道修正  
⇒機能フィルム
- 異種多層フィルムで産業用機材向け供給  
➢ **グンゼのコア技術を活用した新市場開拓**



■ 産業デバイス

■ 機能フィルム

### ■ メディカル

新工場建設などへの積極的な経営資源の投入  
 事業拡大に対応した生産・販売体制整備の推進

- 新製品開発製造エリアの新設（**綾部地区北エリア**）  
⇒**メディカル綾部工場拡張計画の前倒し実施**  
 建設地：京都府綾部市青野町膳所1番地  
 （当社所有地の一角）  
 鉄骨造 平屋 延 2,240㎡  
 建設費 約5億円
- QOL研究所の移転  
⇒**メディカル事業部との連携強化**

<スケジュール>

着工 : 2016年9月  
 建物完成 : 2017年3月  
 稼動開始 : 2017年9月



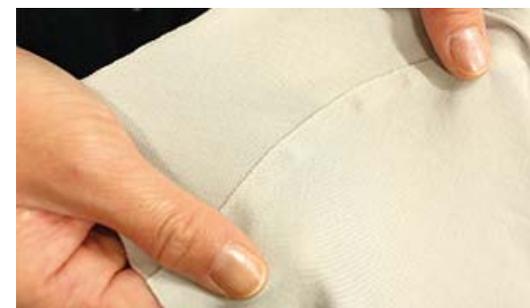
■ 綾部地区北エリア

## VII-7. 2016年度（121期）経営方針 <アパレル事業>

### ■ インナーウェア分野

生産構造改革の継続推進（生産設備の増強）  
差異化技術による重点ブランドの拡販と販売戦略強化

- 完全無縫製インナーの生産増強  
（グンゼ独自の開発技術の強化）
  - 接着縫製の生産増強  
2016年7月梁瀬新工場にて生産開始
- 直販ルート、海外販売の強化
  - 直営アウトレット店舗拡大と店舗運営ノウハウの向上  
（8店舗⇒12店舗への拡大）
  - 台湾、香港を中心とした現地代理店との協業営業体制による  
新規売場獲得推進



■ 完全無縫製インナー

### ■ レッグウェア分野

市場トレンドと消費者潜在ニーズを先取りした  
新市場・新商品の開発推進

- 新価値確立
  - 差異化プレーンストッキング、タイツ、ソックスの開発
- レディス&メンズ連動MD推進
  - レギパンシェアの拡大
- ビューティ&ヘルス市場攻略
  - アンチエイジング商品の水平展開・拡販（コスメディカル）



■ コスメディカル

# VII-8. 2016年度（121期）経営方針 <ライフクリエイイト事業>

## ■ 不動産関連分野

商業施設運営体制見直しによる収益力向上

### <商業施設【鴻巣・前橋】>

- ショッピングモール「エルミこうのす」事業継承「前橋リリカ」との一体運営による相乗効果

### <遊休地再開発>

- 綾部賃貸住宅：6月竣工予定（Ⅱ期：2棟、24戸）
- 夙川賃貸住宅：10月末竣工



■ 前橋リリカ

■ エルミこうのす

## ■ スポーツクラブ分野

海外を含む積極的な多店舗展開による売上拡大

- 国内外での新規出店
  - （2016年4月現在19店舗）
- ターゲット戦略（0-10プロジェクト）によるスクール新規入会促進と在籍数の確保



■ 0-10プロジェクト

## VII-9. 2017年3月期連結業績予想

(単位：億円 単位未満切捨て)

項目	2017年3月期 (121期) 連結		2016年3月期 (120期) 連結		対前年	
	業績予想	利益率 (%)	実績	利益率 (%)	増減	増減率 (%)
売上高	<b>1,410</b>		<b>1,383</b>		<b>26</b>	<b>1.9</b>
営業利益	<b>40</b>	<b>2.8</b>	<b>36</b>	<b>2.6</b>	<b>3</b>	<b>9.2</b>
経常利益	<b>46</b>	<b>3.3</b>	<b>7</b>	<b>0.6</b>	<b>38</b>	<b>481.5</b>
親会社株主に 帰属する 当期純損益	<b>26</b>	<b>1.8</b>	<b>△12</b>	<b>-</b>	<b>38</b>	<b>-</b>

**第121期(2017年3月期)配当は、7.5円/1株を予定しております。**



## ■ 第120期定時株主総会

# 「決議事項」

お手許の招集ご通知45頁から50頁をご参照

## ■ 第1号議案 (招集ご通知45頁)

### 剰余金の処分の件

剰余金の処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

#### <期末配当に関する事項>

連結配当性向50%程度を目安に、中期的な業績見通しに基づき安定的・継続的な利益還元を実施する方針のもと、下記の通りとさせていただきます。

(1) 配当財産の種類

金銭といたします。

(2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき 金8円50銭 総額1,589,233,126円

(普通配当 7円50銭、記念配当 1円)

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

平成28年6月27日

## ■ 第2号議案 (招集ご通知46～50頁)

### 取締役12名選任の件

【取締役候補者】

候補者番号	候補者氏名	候補者番号	候補者氏名
1	児玉 和	7	岡 修也
2	廣地 厚	8	佐口 敏康
3	天野 勝介	9	木村 克彦
4	白井 文	10	高尾 茂樹
5	古川 知己	11	阿武 克也
6	赤瀬 康宏	12	及川 克彦

(注) 天野 勝介、白井 文の両氏は、社外取締役の候補者です。